

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

21. その他

文献

新井信, 佐藤弘, 代田文彦. 芍薬甘草湯を用いた大腸内視鏡検査時の苦痛除去の検討. *日本東洋医学雑誌* 1994; 44: 385-90.

1. 目的

芍薬甘草湯の大腸内視鏡の苦痛に対する有効性の評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

1 総合病院

4. 参加者

全大腸内視鏡検査を受けた 30~60 歳の患者 38 名

5. 介入

Arm 1: 芍薬甘草湯群: ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒を検査前に 5.0g を内服、18 名

Arm 2: 無投与群: 20 名

両群とも検査 5 分前にジアゼパム 10mg を筋注。

6. 主なアウトカム評価項目

自覚症状 (ビジュアルペインスコア: VPS)、収縮期血圧、心拍数、検査時間

7. 主な結果

VPS は投与群で 4.89 ± 0.42 、無投与群で 6.20 ± 0.34 、で投与群のほうが有意 ($P < 0.05$) に低かった。収縮期血圧、心拍数ならびに検査時間には 2 群間に差はなかった。

8. 結論

芍薬甘草湯は大腸内視鏡検査の苦痛を軽減させる。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

RCT で芍薬甘草湯の大腸内視鏡検査の苦痛に対する効果を証明したことは臨床的に意義のある論文である。乳糖などでのプラセボを内服したデザインであると、さらに意義が高まると思われる。

12. Abstractor and date

小暮敏明 2008.8.8